

後期

※「人数制限」欄に*が入っている科目は人数に制限があるため、希望されても受講をお断りする場合があります。

分野	授業科目	人数制限	担当教員	曜日	時限	授業内容
教養	健康・スポーツ論		大高 千明	月	3	身体運動等の持つ意義を知り、健康づくりに役立つ知識を身につける
食	公衆衛生学		高尾 理樹夫	水	1	健康の成因や健康の保持増進、疾病・障害の予防について理解する
	食品材料学(加工学を含む)		池内 ますみ	水	3	食材として流通している農・畜・水産物の種類や成分、特徴について学ぶ
	食品微生物学		三浦 さつき	月	2	微生物の生育や発酵、利用食品やバイオテクノロジー利用について学ぶ
	フードスペシャリスト論		三浦 さつき	木	3	フードスペシャリストの役割と求められる知識を学ぶ
	フードコーディネート論		志垣 瞳	金	1	食に関する演出のための基礎的概念を学ぶ
	カラーコーディネート演習	*	中村 妙子	水	2	色彩の基本的知識を理解し、カラーコーディネーターとして必要な知識を学ぶ
ビジネス	事業計画論		登坂 一博	月	4	経営学の基本的な理論を学び、ビジネスプラン作成力と表現力を身につける
	観光ビジネス	*	山本 あつし	火	3	自らの視点で次世代の観光ビジネスについて考え、創造する
	地域活性化論	*	向井 光太郎	月	2	地域活性の特性、問題点を明らかにし、必要な取り組みについて学ぶ
	経営学総論		向井 光太郎	金	3	経営学の基礎を学び、事業戦略や新しい商品・サービスの企画について学ぶ
子育て	障害者福祉		李 仙恵	水	3	障害の理解と支援の基礎知識、障害者を取り巻く問題について学ぶ
	在宅保育論		石田 裕子	金	3	在宅保育に関する知識を修得し、保育技術を再確認して身につける
	児童家庭福祉		中西 真	月	4	児童家庭福祉の理念と福祉実践、法制度や行財政の重要性について学ぶ
	社会的養護		山口 直範	月	3	社会的養護の意義、児童の権利擁護や自立支援について理解する
	保育心理学演習		別所 崇	金	4	心理学の基礎的な概念の修得と、保育現場における具体的な援助を身につける
	小児保健B		安永 龍子	火	2	子どもの疾病が子どもと家族におよぼす影響を考え支援できる方法を学ぶ
	家庭支援論	*	中田 奈月	金	1	家庭の意義、子育て家庭を取り巻く社会的状況などについて理解する
	保育相談支援		別所 崇	月	1	保育相談支援の意義と原則を理解し、保護者支援の方法について学ぶ
	児童の健全育成と福祉	*	潮谷 光人	月	3	児童福祉分野における児童の健全育成活動の内容と目的を理解する
	教育方法の理論と実践	*	杉山 晋平	火	3	学校教育における情報機器及び教材の適切な活用方法を学ぶ
	国語	*	宮川 久美	金	3	基本的言語能力を身につけ、日本の伝統的言語文化に対して理解を深める
	地域福祉の理論と方法		武田 千幸	火	4	地域福祉の基本的な考え方を理解し、専門職の役割と実際について学ぶ
生活	*	園部 勝章	月	2	生活科の知識と技能を修得し、真理を見極める科学的視野を養う	
介護・福祉	発達と老化の理解		吉田 裕司	金	4	生涯発達理論に基づき、老化や疾患の理解を通して介護のあり方を学ぶ
	認知症の理解Ⅰ		水野 尚美	月	2	認知症の基礎的知識の修得し、周囲の環境にも配慮した介護を理解する
	障害の理解Ⅱ		安永 龍子	水	3	障害のある人のこころとからだの基礎を理解し、介護の視点を学ぶ
	こころとからだのしくみⅠ (こころのしくみ)		小槻 智彩	火	2	介護サービス利用者のこころのしくみを理解し、心理的配慮を身につける
	こころとからだのしくみⅢ (生活援助方法論)		森田 婦美子	金	2	加齢に伴うこころとからだの生理的変化を理解し、介護の知識を修得する
	こころとからだのしくみⅣ (嚥下と口腔衛生)		畑下 芳史	火	3	介護現場で必要とされる食事についての知識と口腔ケアの知識、技術を学ぶ
	社会福祉概論		武田 千幸	火	1	社会福祉の基礎について理解する
	社会福祉施設経営		酒井 宏和	月	2	施設経営についての理解を深め、基本的なマネジメントを学ぶ
	福祉行財政と福祉計画		潮谷 光人	木	2	福祉行財政のシステムを把握し、福祉計画の方法などについて理解する
	高齢者に対する支援と 介護保険制度		平岡 毅	木	4	高齢者福祉の制度と実態を学び、介護保険制度の概要を理解する
	低所得者に対する支援と 生活保護制度		尾崎 剛志	水	3	低所得者の生活状況を把握し、生活保護制度等の基礎的な理解を深める
更生保護制度		尾崎 剛志	水	4	更生保護の概要、様々な手続き、専門機関、専門職種について理解する	